

【安心・安全な社会】
強靱な社会の基盤となる平和構築と公正なガバナンス強化：公正で包摂的なガバナンス

現状と課題

- アフリカの多くの国は、公正で包摂的な社会からは遠い状況であり、司法アクセス、刑事司法、警察、メディア、選挙管理等の改善を図る必要がある。
- ジェンダーに基づく暴力(Gender Based Violence: GBV)の問題は、全世界的課題であるが、アフリカにおいても深刻であり、社会経済に対する損失は多額に上る。
- 法の支配、GBVのいずれの課題も、コロナ禍の中で深刻化しており、取組みの必要性は高い。

今後の取り組み方針

【法の支配の実現】これまでの取組の成果の展開及びコロナ禍への対応を踏まえながら、以下の具体的な貢献策を想定：

- **司法アクセス**: コートジボワールでのコールセンターの取組を土台に新たな協力案件の形成・実施を目指す。
- **刑事司法**: 仏語圏アフリカ刑事司法研修の着実な実施に加え、ケニアの非行少女・少年保護にかかる取組やその成果の将来的な域内展開を目指す。
- **警察分野**: ジェンダーの視点も重視しながら、コンゴ民での地域警察協力等の着実な実施を図る。
- **メディア・選挙管理**: 南スーダンでの協力の着実な推進を目指す。

【ジェンダーに基づく暴力(GBV)への対応】女性や少女が尊厳をもって安全に生きることができる社会の実現に向けて、ジェンダーに基づく暴力(GBV)の被害を受けたサバイバーの保護・救済および自立・社会復帰に向けた支援の実施体制を強化するとともに、暴力撤廃に向けた地域社会の意識と行動変容を促すことで、被害を受けた女性や少女が適切な支援サービスを受けられる社会を構築することを目指す。

国際機関などとも連携しながら、以下の3つに取り組んでいく。

- ✓ 被害者中心主義を実践する人材の育成・能力強化
- ✓ GBV対策に関連する政策・制度やインフラの整備
- ✓ 地域社会における教育・啓発



貢献する SDGs

5 ジェンダー平等を実現しよう



11 住み続けられるまちづくりを



16 平和と公正をすべての人に



平和

【安心・安全な社会】 強靱な社会の基盤となる平和構築と公正な ガバナンス強化：公正で包摂的なガバナンス

これまでのJICAの取り組み



コートジボワール: 市民から法的問題等に関する照会を受けるコートジボワールのコールセンター



南スーダン: GBV被害者の保護と自立・社会復帰のための個別専門家を派遣。写真は「女性に対する暴力撤廃の国際デー」のイベント(2021年)



コンゴ民主共和国: 国家警察を対象に人権に関する研修を実施



ケニア: GBVに関する情報収集・確認調査の一環で、FGM(女性性器切除)撤廃に関する啓発活動を実施



南スーダン: 公共放送局のスタッフを対象に技術研修を実施



タンザニア: GBVに関する情報収集・確認調査の一環で、地域社会におけるGBVサバイバーの保護メカニズムを強化するパイロット活動を実施